

平成 29 年度事業報告書

ケアハウスグリーンヒル淳風
軽費老人ホーム（ケアハウス）事業
訪問介護・訪問型サービス事業
居宅介護・重度訪問介護事業
地域密着型通所介護・通所型サービス事業
居宅介護支援事業
地域包括支援センター事業

平成 29 年度の事業計画において

1. 社会資源としての施設の活用
2. 適正な仕事量、環境の整備

の二点をグリーンヒル全体の目標とし、各事業を運営しましたので報告をいたします。

I. ケアハウス

- ① 安定した稼働のための待機者確保

目標数字：稼働率 98%（49 名/月）以上。

	29 年度 実績	前年度 実績	前年比
月初入居者数 (稼働率)	592 人 (98.7%)	591 人 (98.5%)	100.2%
月平均	49.3 人	49.3 人	100.2%
新入居者数	5 人	8 人	62.5%
退居者数	6 人	8 人	75.0%

- ・平成 29 年度は前年度と比較し入退居者数が 7 割前後となり稼働率 98.7%で終了した。前年度下期に退居が続いた影響で 48 名のスタートとなったがなかなか満室にすることができず 10 月になって初めて満室となった。しかし、平成 29 年度も年度末で退居が続き 47 名で終了することとなった。夫婦部屋からの退居があるが幸いご夫婦の待機者があるため空室になることなく入居となる予定。待機者の確保には注力しているものの十分な確保ができていない状態が続いている。

② 入居者支援の向上と書類整理

- ・隣接地の農園は介護職員が中心となり季節の野菜や果物を育て収穫することで一部の入居者の楽しみややりがいとなっている。
- ・月1回の買物ツアーに参加する顔ぶれは決まっており買物に行けない入居者の楽しみは毎週の果物訪問販売、隔週の菓子販売だけであった。しかし、年4回の出張デパート、月1回のセブンイレブン出張販売を取り入れたことにより買物をする機会が増えたことで好評を得ている。
- ・入居者の個別支援記録は事務パートを採用したことでタイムリーにパソコン入力できており確認作業がしやすくなっている。

③ 地域貢献にむけた活動の充実

- ・東校区地域サロンには生活相談員が9回参加。絆の会（デイ事業者連絡会）や一中包括と協力して出前講座を開催しケアハウスの紹介や空き情報を伝えた。校区福祉委員や民生委員との関係も深まり、民生委員の要請で地域の老人会で施設紹介と体操を行う。管理栄養士も寝屋川市老人部会から地域に出向き、施設では栄養講座を、保育園では栄養に関するゲームを行った。
- ・寝屋川市社会福祉協議会地域貢献委員会の「チョット寄ってん家（保育園児の作品展示と福祉相談、障がい者作業所の物品販売、高齢者に関する福祉相談）」の相談業務を担当し協力した。平成30年度も継続して協力する。
- ・市社協からの就労支援1名（通所型12日間）、家裁からの職場体験4名（宿泊型延べ15日間）を受け入れた。また、平成28年度に開催した「気軽に元気アップ講座」の同窓会を開催し、参加者は講師、関係者含め8名であったが楽しい一時を過ごし施設内の見学も実施できた。

II. 訪問介護事業

① 実績

目標数字：4～6月 1300時間、7～9月 1350時間、10～3月 1400時間

- ・多くサービスを使っておられた方の入院、施設入居によりサービス提供時間数が伸びず目標は達成できなかった。介護予防・日常生活支援総合事業の基準緩和型事業から撤退する事業所が出てきているが依頼を断らずに件数を増やしている。

介護保険関係	29年度 実績	前年度 実績	前年比
利用者数（延べ）	1326人	1233人	107.5%
訪問回数	13682回	14490回	94.4%
サービス提供時間 （月平均）	13822：32 (1151：53)	15111：54 (1259：20)	91.5%

外部関係	29年度 実績	前年度 実績	前年比
利用者数（延べ）	939人	856人	109.7%
訪問回数	8513回	8819回	96.5%
サービス提供時間	8490：47	9230：11	92.0%
外部比率（時間対比）	61.4%	61.1%	100.5%

移動支援関係	29年度 実績	前年度 実績	前年比
利用者数（延べ）	12人	11人	109.1%
サービス提供時間	142：45	123：30	115.6%

障害福祉関係	29年度 実績	前年度 実績	前年比
利用者数（延べ）	19人	7人	271.4%
サービス提供時間	329：00	70：20	467.8%

育児・家事支援	29年度 実績	前年度 実績	前年比
利用者数（延べ）	4人	15人	26.7%
サービス提供時間	23：00	113：00	20.4%

② 介護予防・日常生活支援総合事業移行への課題分析と取り組み

- ・現行型は身体介護が主なためできることは自分で行ってもらうなど自立支援はできている。ただ、緩和型は職員が家政婦のような作業を行うプランばかりでこの事業が目指すものとのギャップを感じている。

③ 人材確保と体制強化

- ・サービス提供責任者は12月末に1名退職し3名体制に、登録ヘルパーは3名採用し3名退職したため増減無しとなった。介護福祉士の有資格者も4割近くになり中重度者、認知症、看取りへの対応を目指し、繰り返し内部研修を行っているが実際に使うことが無いと忘れてしまう。中重度者を受けるとあたってはサービス提供責任者と同行するなど経験を増やしてもらうようにしたい。

Ⅲ. 通所介護事業

① 実績

目標数字：月平均稼働率82%以上

介護保険関係	29年度 実績	前年度 実績	前年比
実利用者数（延べ）	2617人	2409人	108.6%
一日平均利用者数	8.5人	7.8人	108.6%
稼働率	84.7%	78.0%	108.6%

- ・契約者数は新規11名、解約8名で3名増の25名となった。稼働率は84.7%と目標の82%を達成し、1年を通して80%を切ることがなく安定した稼働を継続できた。

② 地域密着型通所介護事業所としての役割

- ・3月の利用時間別延べ人数は3～5時間、5～7時間、7～9時間の割合が共に3割強となっており小規模ならではの個別サービスが継続できた。平成30年4月の法改正により利用時間が1時間毎となるが利用者の要望に添うよう柔軟に対応したい。

③ 人材育成によるサービスの質の底上げ

- ・管理者兼生活相談員の急な退職により職員の配置については綱渡りの状態が4ヶ月続いたがデイ以外の事業所職員の協力、派遣を利用することにより不足を起こすことなく乗り切った。
- ・今回の管理者退職による職員不足は当初利用者に不安を与えてしまったが、介護職員二人については頼るものが無い環境から考え方、行動共に非常にしっかりとすることが大きな産物であった。

IV. 居宅介護支援事業

① 実績

目標数字：

4月-9月 要介護 175名 要支援 50名
10月-3月 要介護 180名 要支援 55名

介護保険関係	29年度 実績	前年度 実績	前年比
要介護者契約延べ数 (月平均)	2196件 (183.0)	2094件 (174.5)	104.9%
要支援者契約延べ数 (月平均)	580件 (48.3)	693件 (57.8)	83.7%

- ・9月末のケアマネジャー退職に伴い、他の事業所に担当を依頼する事態となっ

た。新規の受入も減算にならないよう調整して行っている状態が続いている。

② 在宅生活への支援

- ・利用者の高齢化、介護度・認知症状の重度化に伴い医療的ケア、終末期ケア、認知症ケア等の多様なニーズに応えるため地域住民、関係機関、行政等と連携を図り専門職として支援した。また、支援するスキルを身につけるため施設外研修についても積極的に参加した。

③ 居宅介護支援事業所運営の適性化

- ・平成 28 年度にケアマネジャー 6 名体制としたが 9 月末に 1 名退職したため 5 名体制に戻ってしまった。補充ができず 5 名体制が続いているため管理者の件数を減らすという目標は達成できていない。6 月には事業所内での相互チェック、10 月に法人内部監査を実施した。減算となるような書類の不備は無かったため今後も事業所内の相互チェックは継続して行う。

V. 地域包括支援センター

① 実績

目標数字：直轄ケアプラン数 上期 100 件/月 下期 110 件/月

介護保険関係	29 年度 実績	前年度 実績	前年比
予防プラン数（延べ）	3523 件	4120 件	97.4%
内直轄プラン（延べ）	1067 件	1063 件	94.3%
相談件数（延べ）	478 件	520 件	102.6%

- ・7 月に社会福祉士が退職し 8 月に後任が入職したがゼロからのスタートであるため直轄件数を伸ばせずに終わった。プランナーも上期目標の 60 件近くまでは増やせたが下期目標の 70 件は未達成であった。

② 地域包括ケアシステム構築の継続的实施

- ・認知症サポーター養成講座を関西医大病院等に継続して実施している。医療との連携では関西医大香里病院の他職種連携会議に地域包括支援センターの代表として活動している。

③ 地域包括支援センターの周知

- ・「いつまでもお元気で教室」は 36 回開催し、40 名前後の参加者となり地域の「通いの場」となっている。新しく始めた元気応援教室も 12 回開催し地域に根ざそうとしている。

VI. その他

① 老朽化が進む建物全体の補修計画の作成

- ・平成 29 年度は、消防設備と浴室ろ過機の修繕を行った。今後も予定にない修繕

が突然起こると思われるが5年計画に基づいて必要な修繕は予定通り行っていく。

② 給食業務の見直し

- ・厨房の直営については委託費値上げのタイミングで検討していた。施設としては直営時に引き受けるパート職員のみで厨房業務が回ることを条件としている。平成30年度に入り委託費を5万円値上げする提案がなされたが5月で1人立ちする予定のパート職員が体調不良で休んでおり、代わりに委託業者社員が厨房勤務に入っている状況である。当初、直営にすることで30万円ほど経費が減る試算を提示されたが現在の食事を維持するために再計算すると10万円強の経費削減にしかない。今後直営にすることは避けられないと思われるがメリットを正確に把握するため委託業者との話し合いは継続する。

③ 隣接地の活用

- ・ケアハウスご入居者の中にも認知症が重度となった方が増えておりグループホームはどうか等の検討は行ったが、検討は継続するものの今は淳風とよなか地域密着型特養に法人全体で取り組むべき時と考え、安定した資金収支差額を残すことを第一と考えている。

1、月初入居者総数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
48	49	49	50	49	49
10月	11月	12月	1月	2月	3月
50	50	50	50	50	48

2、新入居者

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0	1	1	1	0	1	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	0	0	0	0	0	
					合計	5
					前年度	8

3、退居者

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0	1	0	1	1	0	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
0	0	0	0	2	1	
					合計	6
					前年度	8

4、体験入居者

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1	0	0	0	0	1	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
0	0	0	0	0	0	
					合計	2
					前年度	9

5、月中入院者又はSS等の長期利用(延べ)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
3	2	3	1	3	2	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	2	2	2	2	1	
					合計	24
					前年度	25

6、介護区分状況(介護度別)

介護度	全		男		女	
	当年	前年	当年	前年	当年	前年
自立	9	8	4	5	5	3
要支援1	1	1	1	0	0	1
要支援2	2	4	1	1	1	3
要介護1	12	18	4	7	8	11
要介護2	18	13	3	2	15	11
要介護3	5	3	2	1	3	2
要介護4	0	1	0	0	0	1
要介護5	0	0	0	0	0	0
合計	47	48	15	16	32	32

7、平均年齢等

介護区分	全		男		女	
	当年	前年	当年	前年	当年	前年
平均年齢	83歳8ヶ月	83歳0ヶ月	79歳5ヶ月	78歳8ヶ月	85歳7ヶ月	85歳3ヶ月
最高年齢			92歳6ヶ月	91歳6ヶ月	99歳9ヶ月	101歳2ヶ月
最少年齢			63歳3ヶ月	62歳3ヶ月	66歳10ヶ月	65歳10ヶ月

8、平均入居期間

介護区分	全		男		女	
	当年	前年	当年	前年	当年	前年
平均入居期間	5年8ヶ月	5年7ヶ月	5年2ヶ月	4年8ヶ月	5年11ヶ月	6年1ヶ月

平成29年度ケアハウスグリーンヒル淳風施設内活動、行事報告

1、行事

行事名	開催日	参加数	前年度
花見会	4/2	60	66
春の行楽ツアー(舞洲ゆり園)	5/12	14	17
バーベキュー大会	5/14	48	57
納涼会	8/6	196	202
敬老会	9/16	55	50
秋の行楽ツアー(南禅寺奥丹)	10/20	15	13
運動会	10/22	33	46
焼芋大会	11/19	36	35
鍋料理	12/5	52	55
餅つき大会	12/10	56	65
新年会	1/6	45	49
初釜	1/7	31	34

2、クラブ活動

クラブ名	実施回数	参加数(延べ)	参加数(平均)	前年度(平均)
うた体操の会	11	73	6.6	7.5
紙芝居・朗読の会 ※	1	7	7.0	6.8
カラオケの会	11	78	7.1	7.8
生け花の会 ※	1	2	2.0	2.1
輪投げ会	12	83	6.9	9.3
ビデオ映画会	14	132	9.4	10.3
手作りクッキング	12	74	6.1	6.0

※講師の都合により5月以降活動休止

3、アクティビティ

アクティビティ名	実施回数	前年度
食事ツアー	9	10
買物ツアー	20	20
喫茶	6	6
季節の入浴	12	12
出張デパート(フルカウント)	2	—
訪問販売(セブンイレブン)	2	—

延べ42名来店

延べ46名来店

4、懇談会等交流会

会議名	実施回数	前年度
ご入居者懇談会	5	6
事故苦情第三者委員会	1	1

※家族後援会総会は平成27年度より休止

5、ボランティア受け入れ実績

ボランティア名	受入人数	前年度
一般	23	21
寝屋川市社協	105	138
納涼会ボランティア	43	41
清風寺餅つきボランティア	13	24
清風寺若葉会	83	84
信光寺	11	23

29年度研修一覧表

1、研修

①施設外研修(包括除く)

研修名	参加人数
地域支援事業に係る研修	1
河内循環器呼吸ケア研究会	1
寝屋川市現任者研修	5
養護老人ホームについての研修会	1
在宅難病患者支援関係者研修会	1
自立支援型ケアプラン作成学習会	2
通所型サービス(短期集中)についての研修会 第1回	5
通所型サービス(短期集中)についての研修会 第2回	2
平成30年度介護保険改正についての学習会	5
在宅における看取りケアに関する研修会	1
訪問介護における金銭管理とは	1
災害発生前における防犯危機管理の必要性・重要性を考える	1
認知症ケア研修会・バリデーション基本編	1
認知症サポーターステップアップ講座	3

②施設外研修(包括)

研修名	参加人数
NHKハートフォーラム 認知症700万人当事者と創る新時代	2
第8回クオレ介護フォーラム	2
医療介護連携枠組み構築に向けた支援事業の説明会	1
エイジレス博	1
第11回クオレ介護事例発表会	1
大阪府の現状と課題～課題だからこそその介護予防の重要性!!～	1
在宅介護支援センター大阪セミナー	1
地域包括支援センター実践能力向上研修	1
シンポジウム 仕事と介護の両立に向けて	1
寝屋川市オレンジチームとの研修会	2
北河内リハビリテーション地域連携研究会情報交換会	1
消費のサポーター養成講座	1
佐藤雅彦さん講演会 ～尊敬ある生活のために～	1
日本司法支援センター大阪地方協議会	1
寝屋川市の防災施策の概要及び医療・福祉の連携	1
消費のサポーター更新講座	1
高齢者虐待防止・対応の体制整備促進に関する研修会	1
消費のサポーター更新講座	1
大阪府認知症キャラバンメイト養成研修	1
市町村認知症地域支援推進施策取組報告会	1
地域ケア会議・介護予防活動普及展開事業全体研修	1

③職員会議研修

研修名	日程
倫理・法令遵守に関する研修	4月職員会議
感染症又は食中毒の予防及びまん延防止の為の研修①	5月職員会議
地域貢献についての研修	6月職員会議
事故防止の為の職員に対する研修	7月職員会議
認知症・精神疾患についての研修	8月職員会議
防災についての研修	9月職員会議
感染症又は食中毒の予防及びまん延防止の為の研修②	10月職員会議
プライバシー・個人情報についての研修	11月職員会議
基本的人権についての研修	12月職員会議
地域包括ケアについての研修	1月職員会議
身体拘束・虐待に関する研修	2月職員会議
苦情処理についての研修	3月職員会議

④施設内研修(伝達研修も含む)

研修名	日程
鍵預かり事業について (寝屋川市社会福祉協議会)	6/28
ノロウイルス感染者発生時の対応について (サラヤ株式会社)	10/25
仕事と介護の両立支援として求められていること (六中包括)	11/22

⑤地域貢献に関するもの

会議名	回数
かぎ預かり事業 21協力施設合同会議	2
第一中学校区圏域かぎ預かり事業連携会議	5
緊急時安否確認(かぎ預かり事業)合同模擬訓練	1
東校区サロン	6
明和校区地域ボランティア部会	1
気軽に元気アップ講座同窓会	1
チョット寄ってん家	3

⑥職場体験等

研修名等	人数
中間的就労受入	1
家庭裁判所からの職場体験受入	4